

令和2年度 小規模保育園『キッズハウスひかり』 自己点検評価

○この自己点検評価は、保育所保育指針をもとに、保育の質向上を目指す上で必要だと考えられる20項目を定め、保育士個人による評価をもとに、園内で話し合いを行い評価したものです。

第1章 総則 教育・保育の基本

教育・保育の基本

※評価については 大変良いA 良いB 普通C 努力が必要D

		評価	改善点
1	乳幼児期の教育及び保育は人格形成の基礎と生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われること、そして子どもの最善の利益を考慮してすすめることを理解していますか。	A	継続

教育及び保育の配慮

2	あなたは、一日の生活の連続性やリズムの多様性に配慮して保育を展開していますか。	B	さらに保育室における生活が発達過程や時期、季節などに即して静と動のバランスの取れたものになるよう配慮する。
3	子ども一人一人に、わかりやすい温かく優しい言葉で、おだやかに話しかけていますか。	A	継続

指導計画作成と評価

4	入園までの生育歴や日々の保育記録を子ども一人一人の発達理解に生かし、養護面の配慮が個別的に指導計画されていますか。	A	継続
5	あなたの保育について反省・評価し、それを次の指導計画の作成に生かしていますか。	A	継続

子どもの発達

6	子どもの発達(環境)は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解し、子どもが興味や関心を持ったものに対して自分から関わろうとしている姿を認めたり励ましたりしていますか。	A	継続
---	--	---	----

第2章 「ねらい」及び「内容」

乳児保育に関わるねらい及び内容

7	温かい触れ合いの中で、心と体の発達を促すように努めていますか。	A	継続
---	---------------------------------	---	----

1歳児以上3歳児未満児の保育に関するねらい及び内容

8	安定感をもって生活できるように受容し、また子どもの気持ちを尊重し、温かく見守り、愛情豊かに、応答的に関わっていますか。	A	継続
9	体を動かす機会を十分に確保し、子どもが自分から動かそうとする意欲が育つようにしていますか。	A	継続
10	食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、身の回りの清潔などは子ども一人一人の状態に応じ、落ち着いた雰囲気の中で子どもが自分でしようとする気持ちを尊重して対応していますか。	A	継続
11	感覚の発達が促されるように、音質、形、色、大きさなど子どもの発達状態に応じて玩具、絵本、遊具などを選び、それを使った遊びを楽しめるような環境を用意していますか。	B	今後も生活の中で、様々なものから刺激を受け、敏感に反応し、諸感覚を働かせて、そのものを受け止め、楽しんだり、面白さや不思議さなどを感じられるよう環境を設定する。
12	身近に経験したことや生活の中で興味のあること(歌や手遊び、体操など)を、自分なりにイメージを広げて表現できるようにしていますか。	A	継続

配慮事項

13	子どもの活動、発達は心身共に個人差が大きく発達過程をふまえた上で保育を展開し、気持ちや行動を受け止めるなど配慮をしていますか。	A	継続
----	---	---	----

第3章 健康及び安全

健康支援

14	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしていますか。	A	継続
----	--------------------------------------	---	----

食育

15	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように配慮していますか。	A	継続
----	----------------------------------	---	----

環境

16	室内の温度や湿度、頭髪、爪などの清潔に心がけていますか。	A	継続
----	------------------------------	---	----

災害への備え

17	避難経路を振り返り、うまくいった点や反省点を記録に残していますか。	A	継続
----	-----------------------------------	---	----

第4章 子育て支援

保護者に対する子育て支援

18	保護者からの相談内容などを、あなた一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか。	A	継続
----	--	---	----

第5章 職員の資質向上

職員の資質向上

19	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識を習得したり技能の向上に努めていますか。	A	継続
20	自己評価など、自分の保育を定期的に振り返る機会をもっていますか。	A	継続

※参考文献

『保育者のための自己評価チェックリスト』～保育者の専門性の向上と園内研修充実のために～
(H29年告示改訂版)

○今年度の保育を見直し、来年度改善を目指します。また、評価の高かった項目についても、さらに創意工夫の下、